地下水マネジメント研究会の開催趣旨

地域の地下水の課題問題を一元的に解決し、多様な関係者の協力の下、地下水マネジメントに取り組む地方公共団体の取り組みを支え、応援していくための、「地下水マネジメント推進プラットフォーム」の活動を令和５年３月より開始。

地下水マネジメント推進プラットフォーム

- ポータルサイトによる情報提供
- 相談窓口の設置
- アドバイザーの派遣
- 地下水マネジメント研究会
- 地下水データベース
- ガイドライン等に関する情報提供・内容の充実

相談 ↑　↓ 支援

地下水マネジメントに取り組もうとする地方公共団体

ポータルサイトによる情報提供

地下水に関する情報を一元的に得ることができるポータルサイトを設置し、地下水マネジメントに必要な基礎的な情報、地下水盆の概況、条例策定状況、地下水データベース等を紹介。

「ポータルサイト」トップページ



アドバイザーの派遣

水循環アドバイザーの制度を活用し、地方公共団体等の課題に応じた、水循環アドバイザーの紹介、派遣を実施。

【令和7年度の主な派遣状況】※地下水関係のみ
- R7.7.8　静岡県静岡市
「静清地域地下水利用対策協議会総会における記念講演」
- R7.8.20　三重県伊賀市
「伊賀市民を対象とした地下水に関する勉強会講師」
- R7.8.21、25　愛媛県松山市
「長期的水需給計画改訂への助言」
- R7.9.22 、29　長野県小諸市
「高校生を対象とした地域の水の魅力を言葉で表現するワークショップ」

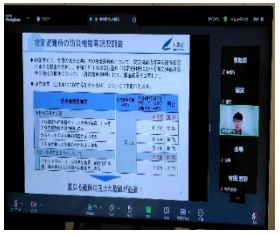

静岡県静岡市派遣状況

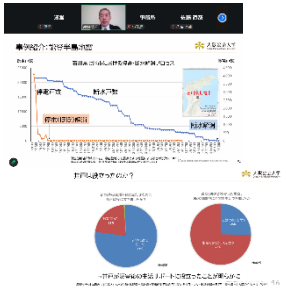

三重県伊賀市派遣状況

地下水マネジメント研究会

課題の解決の方向性を見いだすことを支援するため、地下水に関する基礎的な知識を提供するとともに、先進的に取組を進めている地方公共団体の経験、ノウハウや、大学、研究機関、企業、NPOなどの多様な主体の知見等を提供し、意見交換を実施。

【令和7年度 開催状況】参加者　約200名/回
- 第1回（R7.8）
地下水マネジメント推進プラットフォームについて
災害時に備えた生活用水の確保について　等
- 第2回（R7.12）
地下水データベースの活用方法について
災害用井戸の重要性と課題　等
- 第3回（R8.1）
災害時地下水利用ガイドライン改訂概要　等


災害に備えた生活用水の確保
（内閣府　防災担当）


災害用井戸の重要性と課題

地下水マネジメント研究会の開催状況

■これまでの開催状況

・令和4年度（R5.3）に第１回研究会を開催し、地下水マネジメントの概念、必要性について説明。
・令和5年度は、主にこれから地下水マネジメントに取り組もうとしている地下水行政の経験の浅い、地方公共団体の担当者をターゲットとして、地下水マネジメントに着手するに当たっての基礎知識を浸透させるするための内容を説明。
・令和6年度は、地下水行政の基礎知識に関する復習、現地視察、および能登半島地震を踏まえ、災害時の水源確保に関する取組事例、「災害時地下水利用ガイドライン」の紹介等。
・令和7年度は、地下水データベースの活用方法、災害用井戸の重要性や課題に加え、令和7年12月に改訂した「災害用井戸地下水利用ガイドライン」の概要について紹介を実施。

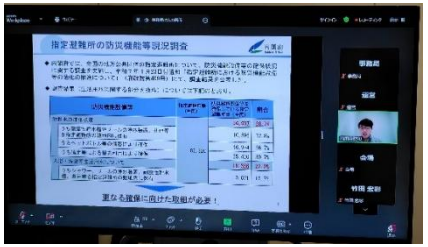
	第１回（R5.3）	第２回（R5.6）	第３回（R5.9）	第４回（R6.1）
令和5年度	地下水マネジメントの概念、必要性	地下水行政の基礎知識「地下水の実態把握」 ・地下水の観測	地下水行政の基礎知識 「地下水の実態把握」 ・地域特性の整理 ・現地観測	地下水行政の基礎知識 「地下水の実態把握」 ※令和5年度総まとめ
	第１回（R6.5）	第２回（R6.7）	第３回（R6.10）	第４回（R7.3）
令和6年度	地下水行政の基礎知識 「地下水の実態把握」 ・令和5年度復習	能登半島地震と地下水 ・行政の取組事例 ・現地調査報告	現地視察 「地下水観測の効率化」 ・危機管理型水位計の活用 ・現地観測	説明会 「災害時地下水利用ガイドライン」
	第１回（R7.8）	第２回（R7.12）	第３回（R8.1）	
令和7年度	・地下水行政の基礎知識 ・地下水マネジメント推進プラットフォームについて	・地下水データベースの活用方法について ・災害用井戸の重要性と課題	説明会 「災害時地下水利用ガイドライン改定概要」	

地下水マネジメント研究会の開催状況

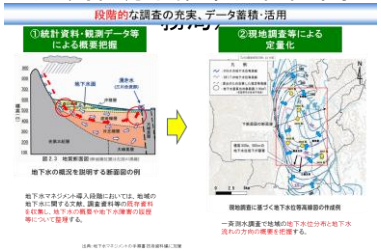
地下水マネジメント・地下水行政の基礎知識の紹介



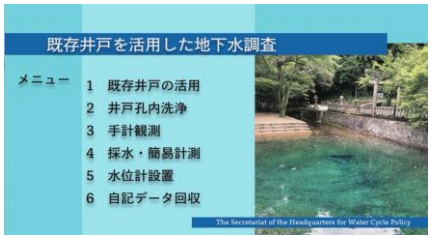
研究会 配信状況
（内閣官房水循環政策本部事



災害に備えた生活用水の確保
（内閣府　防災担当）



地下水の基礎知識



既存井戸を活用した地下水調査

現地観測の効率化・地下水マネジメント現地講習会





河川危機管理型水位計の実証実験の説明・現地視察





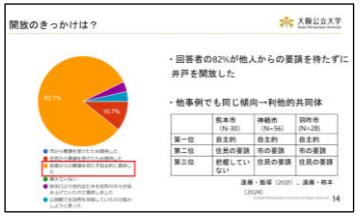
産業技術総合研究所による地下水マネジメントに関する講義

災害時地下水利用に関する取組の紹介

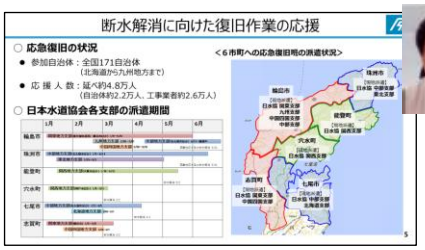


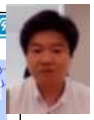
大阪公立大学 遠藤崇浩教授を迎え
研究会を開催



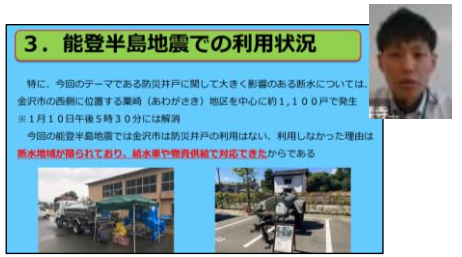


大阪公立大学 遠藤崇浩教授による「現地調査報告」





「取組事例紹介」【石川県生活環境課】

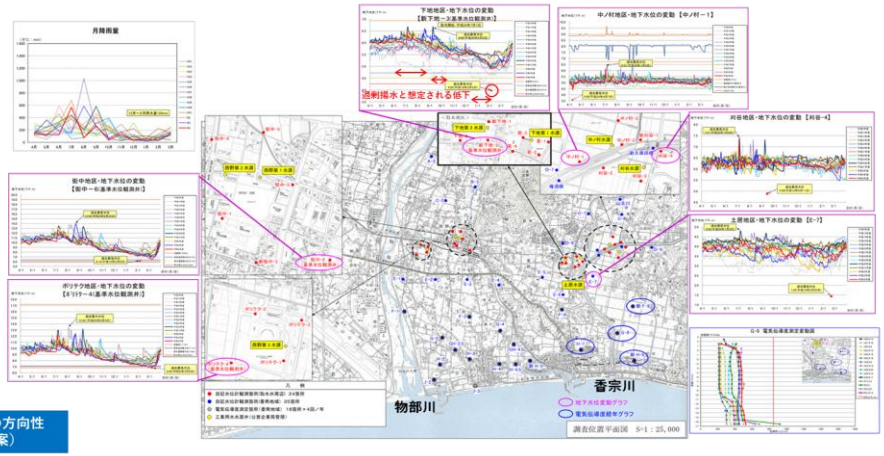


「取組事例紹介」【金沢市危機管理課】

研究会を通じた地下水マネジメントへの取組支援

地下水利用の課題

・既存観測データによると、一部地域で、過剰揚水と想定される急激な地下水位低下がみられる。
・今後も同様の地下水位低下を生じ、当該地区の井戸能力が低下あるいは枯渇することが懸念される。



取組の方向性（案）

・過剰揚水により地下水位が低下して取水井戸の揚水量減少や枯渇を生じた場合、事後対応では事業継続に影響を生じる場合がある。
このため、常時地下水位をモニタリングし、地下水利用者が連携して、予防的に揚水量を調整するスキーム※を構築することが望ましい。
※例えば、各季節ごとの事業者等の繁忙状況に応じて揚水の優先事業者を決めておくなど、事業活動への支障を生じない連携スキーム等

・現在、取水井戸近隣等で実施している涵養事業は、揚水による地下水位低下を緩和する観点から有効であると考えられ、継続することが望ましい。